

「第16・17回準備協議会報告」

ときわ台しゃれ街準備協議会事務局



景観ガイドライン（案）の作成に向けた議論もいよいよ具体的な検討に入ってまいりました。9月からは、月2回の準備協議会を開催しており、ガイドライン（案）の実現に向けてスピードアップしております。本号では、9月に開催された第16および17回準備協議会での協議内容についてご報告いたします。

■第16回準備協議会～ガイドラインの構成等について～

前回で議論された、景観ガイドラインの理念の方向性にもとづき、具体的な内容の検討を行いました。主な協議内容は以下のとおりです。

- * ガイドラインにおける検討項目は、理念の下に『自然環境』、『生活環境』、『景観』、『街づくりの仕組み』に仕分けされ、この中で『自然環境』、『景観』に関する項目が、東京都に提出する景観ガイドラインの核となる部分に相当することになる。
- * 住民のみなさまへのアンケートの結果から、ときわ台の自然環境・生活環境に関する問題点を整理し再確認しました。具体的には、ロータリー、クルドサック、プロムナードなど他都市には類を見ない、都市デザインの形成要素を保全・継承していくことが重要であり、また、それらインフラに加えて、緑環境、電柱、サイン・看板設置時の景観への配慮が重要であることを確認しました。
- * ガイドライン検討の基礎知識として、常盤台1・2丁目の都市計画規制については、4種類の用途地域（第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、近隣商業地域、商業地域）がしきれており、規制内容もそれぞれ特色があることを確認しました。その上で、全地域に一律の指針をあてはめるのは難しく、それぞれの地域の実情に応じた内容を検討する必要がある等の議論がなされました。
- * 板橋区における狭隘道路（幅員4m未満の道路、フットバスは該当しない）拡幅と生垣に関する助成制度、緑化基準について確認しました。区が定めるルールや制度をにらみながら内容を検討することを確認。緑については、量を確保することが重要であるが、維持・管理との兼ね合いを踏まえた現実的な内容を盛り込むべきとの意見がありました。

- * ガイドラインの構成については、地域全体に共通した内容、地域別内容の2層構造のガイドラインとすることが提案され、各層での検討項目について示された。具体的には、全域ガイドラインで、『緑を増やす』、『街並みを整える』、『防犯防災』に関する指針、ゾーン別（地域別）ガイドラインで、4種類の用途地域毎の重点課題の解決に向けた内容とすることが提案されました。

■第17回準備協議会～全域・地区別ガイドラインの検討項目について～

第17回の協議会では、景観ガイドラインを全域に共通する『全域ガイドライン』と地区毎の特徴に応じた『地区別ガイドライン』の2層構造として構成することとし、各ガイドラインに盛り込むべき内容について協議しました。さらに、広義のガイドラインについても話し合っています。

(1) 全域ガイドラインに盛り込むべき内容

全域にかかる項目として、『緑を豊かにする』、『街並みとの調和を図る』、『安全な街をつくる』の視点が必要であることが話し合われました。常盤台のシンボルともいえるプロムナードをはじめ、緑豊かな街並みをどのように保全、育成していくべきか、また調和のとれた落ち着いた景観形成のためにはどうしたら良いのか等について議論しました。一方で、犯罪が増加する現状に資する景観づくりのあり方について意見が交わされています。

(2) 地区別ガイドラインに盛り込むべき内容

地域内で指定されている4つの用途地域（前掲）に応じた景観づくりのあり方について協議されています。具体的には、常盤台の商業地域には、風俗店や大規模な開発は必要であるのか、住居専用地域では、戸建てを中心とする住宅地の良好な景観形成のための方法、等について意見が出されました。

* 用途地域とは：わが国の都市計画では、12種類の用途地域が定められ地域毎の用途や建築物の基準等が決められています。例えば、“近隣商業地域”では、近隣の住宅地の住民のための店舗、事務所などの利便の増進を図る地域であり、常盤台ではSB通りの商店街が該当します。

(3) 広義のガイドライン

- * 放置自転車の問題、公共空間の景観管理の問題等については引き続き検討する。
- * ときわ台の環境向上のため、小学校でときわ台の街づくりの歴史について教える機会を設けたい。

以上

配布もれのある方、ご意見のある方は、編集委員野崎まで（tel3558-2849・fax3558-2945）お問い合わせ下さい。

編集後記

衣替えの時期となり、ときわ台の街路樹も少しずつ秋らしくなってきました。プロムナードに茂るプラタナスやマロニエの緑をはじめて見たとき、こんな道づくりもできるんだと感激したことを覚えています。この感激は、学生時代に滞在した南仏の古都エクサンプロバンスのミラボー通り（プラタナス並木）で受けた印象と同じです。こうした昔からの文化を護り・継承していくことの重要さを改めて感じ、常盤台で生活できることを誇りに感じている今日この頃です。

編集委員 及川、野崎、服部